

# 市民文化復興のシンボルとして



〔仮称〕市民交流センターの基本的な考え方や、基本設計の概要については、昨年11月15日発行の「復興特集号②」でお知らせしましたが、この度、基本設計における、パブリックコメントなどの内容を精査し、利用者の皆さんの利便性向上、管理面、コスト面などの観点から検討を加え、実施設計を取りまとめました。今月号ではその概要をお知らせします。

## 〔仮称〕市民交流センターとは？

東日本大震災により、多くの市民の皆さんが利用していた総合福祉センターが使用できなくなり、その再建は市の「顔」でもある中心市街地の再生・活性化にとって重要課題の一つとなっています。

〔仮称〕市民交流センターは、市民文化復興のシンボルとして整備するもので、図書館や公民館などの生涯学習をはじめ、キッズパークなどの子育て支援、市民活動団体な

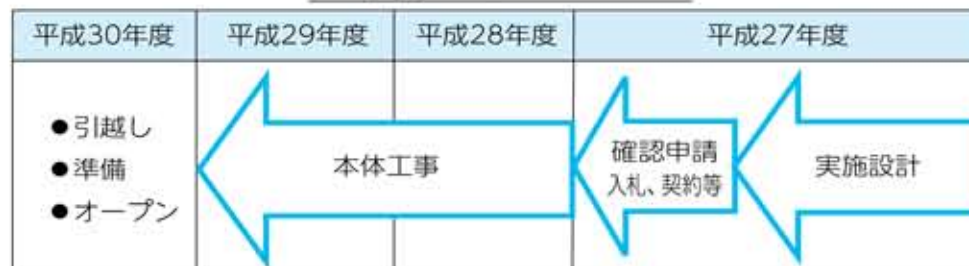
どの支援、市民交流、まちなかにぎわい創出などの機能を持つ複合施設です。

## 皆さんの憩いの場に

従来は別々だった施設を一体化することで、多世代にわたり多くの市民の皆さんが、交流を深めていく場となり、皆さんの居場所になることを目指しています。

プロポーザル提案から実施設計に至るまでの施設面積の推移や、基本設計からの主な変更点は、次ページの表のとおりです。

### 今後のスケジュール



※今後、東日本大震災によって津波被害を受けた沿岸部地域の本格的な復旧・復興工事や、東京オリンピック関連工事などの影響により、スケジュールが変動する可能性があります。

### ●施設面積の推移表

	室内有効床面積	建築基準法延床面積(軒下の一部、テラスの一部を含む)	総面積(テラス全体を含む)	階数
プロポーザル提案	約15,300㎡	約18,800㎡	約23,100㎡	地上6階 地下1階(駐車場等)
基本設計	約11,500㎡ (△3,800㎡)	約13,800㎡ (△5,000㎡)	約15,300㎡ (△7,800㎡)	地上5階 (一部地下機械室あり) ※地下駐車場廃止
実施設計	約11,500㎡	約13,400㎡ (△400㎡)	約14,800㎡ (△500㎡)	同上

※〔仮称〕市民交流センターに導入する機能(市図書館、中央公民館、キッズパーク、あきない広場、旧総合福祉センター)の既存施設の建築基準法延床面積の合計は、約11,000㎡です。

### 6つの基本コンセプト

- 誰もが気軽に集い、語り合える人と人との **出会い・交流**の場
- 様々な情報を **知る**ことができ、ともに **学び、育てあ**う場
- まちの歴史、文化、観光、市民活動などの情報を **発信**する場
- まちの魅力、資源を **再発見**する場
- まちを元気にする活動を **支援**する場
- まちの新しい魅力、須賀川らしさを **創り出**す場

### ●基本設計からの主な変更点

区分	変更点の内容
1階	(仮)あきない通りの西側にもトイレ(男女兼用2か所)を設けます。 センター閉館時にもコンビニエンスストアの利用を可能にするため、北側の風除室からも出入りできるようにします。 市民活動サポートセンターの面積を拡充し、通り沿いの間口を広げ、独立型の印刷室(全体で共有)を設けます。 多目的ルーム内に「天井吊り下げ型展示パネル」を設置します。
2階 5階	(仮)キッズパーク内にあった「子育て支援センター」と「一時保育室」を同じ2階の南側へ移動することで2階を子どもに関わるフロアとし、2階にあった学習室、会議室については、比較的静かな5階に移動します。
3階	印刷室を1階に移し、新たに自動販売機コーナーと給湯室を設けます。
4階	4階のメインライブラリーからエレベーターホールに通じる出入り口には、防音対策のためドアを設けます。
駐車場	敷地西側(西裏線側)にも駐輪場(30台)を設けます。※敷地東側に70台あり 東側駐車場(松明通り側)にタクシーベイ(2台)を確保します。
テラス等	テラスの維持管理や位置を再精査し、面積を縮減します。 コストを考慮し、ガラス面を削減し壁面を増やします。



音楽フェスをみんなで企画(5月31日・ワークショップ)

### 市民交流センター Q&A

市民交流センターに関するQ&Aを、市ホームページに掲載しましたのでご覧ください。

須賀川市市民交流センターで検索

### ●主な機能の現施設との面積比較表

区分	現行施設	〔仮称〕市民交流センター	比率
市図書館	約1,060㎡	約2,430㎡	約2.3倍
中央公民館	床面積	約1,800㎡	約1.4倍
	貸室数	11室	16室
屋内遊び場(仮)キッズパーク	約300㎡	約520㎡	約1.7倍

**現在の施設との比較は？**

〔仮称〕市民交流センターは、規模、設備ともに現在の施設よりも大きく充実します。

左の表は各機能の床面積での比較、貸室数を比較したものです。

### 施設の名称は？

仮称とはいえ、既に市民交流センターとして多くの市民の皆さんに認識されているため、「須賀川市市民交流センター」とします(設置条例において定めます)。

### 愛称を募集予定

皆さんに親しまれる施設の愛称を募集する予定です。詳細が決まり次第「広報すがわ」や市ホームページなどでお知らせします。

市役所市民交流センター整備室(卸町仮庁舎) ☎(88)9183



みんなで作る考える(平成26年7月19日・ワークショップ)

